

令和6年度
近畿地域未来につながる持続可能な農業推進コンクール

(GAP部門)

JGAPに基づく管理方法による労働安全の確立

かぶしきかいしゃ かんそーてくのす かなんいちごのうじょう

株式会社KANSOテクノス河南いちご農場

主な取組

大阪府南河内郡河南町

株式会社KANSOテクノスは「環境」「土木」「建築」の3つの分野を統合した総合エンジニアリング企業ですが、2020年に新たな経営部門として「株式会社KANSOテクノス河南いちご農場」が設立されイチゴの生産を開始。経営拡大に伴い、2023年にはJGAP認証を取得されました。

リスク管理の一環として、独自のリスクアセスメントシートや危険予知活動表を活用し、労働安全、品質保証、環境保全などを意識した経営を実践されています。また、GAP認証を通じて、自社の取り組みや理念を消費者にPRし、その結果として販売価格の向上や取引先数の増加を達成されています。

さらに、同社は他の企業や生産者による視察・研修の受け入れなどを通じて自社の事例を積極的に発信されています。企業による農業参入は近年増加傾向にありますが、特に異業種からの参入では、経営において様々な課題が生じます。事例発信は、地域における新たな農業者にとって有意義であり、同社は地域の牽引役を担っています。



ハウスの全景



ハウス内の様子

令和6年度 近畿地域未来につながる持続可能な農業推進コンクール

(GAP部門)

京都府トマト・メロンにおけるGLOBALG.A.P.認証取得を継続して

きょうとふりつのうげいこうとうがっこう

京都府立農芸高等学校

京都府南丹市

主な取組

京都府立農芸高校は、2017年にトマトでGLOBALG.A.P.認証を取得され、2021年には「令和3年度近畿地域未来につながる持続可能な農業推進コンクール」において近畿農政局長を受賞されました。また、同年メロンでもGLOBALG.A.P.認証を取得されています。認証審査を公開されるとともに府内外からの視察の受け入れや外部への情報発信にいっそう尽力されています。

農業高校として、座学だけでなく実習を含めた教育が行われており、農業経験がない入学生の多くにも、地域で必要とされるGAPを実践できる人材を着実に育成されています。今後も生徒による主体的な活動を継続し、各分野へ多くの人材を輩出されることが期待されます。



審査会の様子



労働安全への取組事例